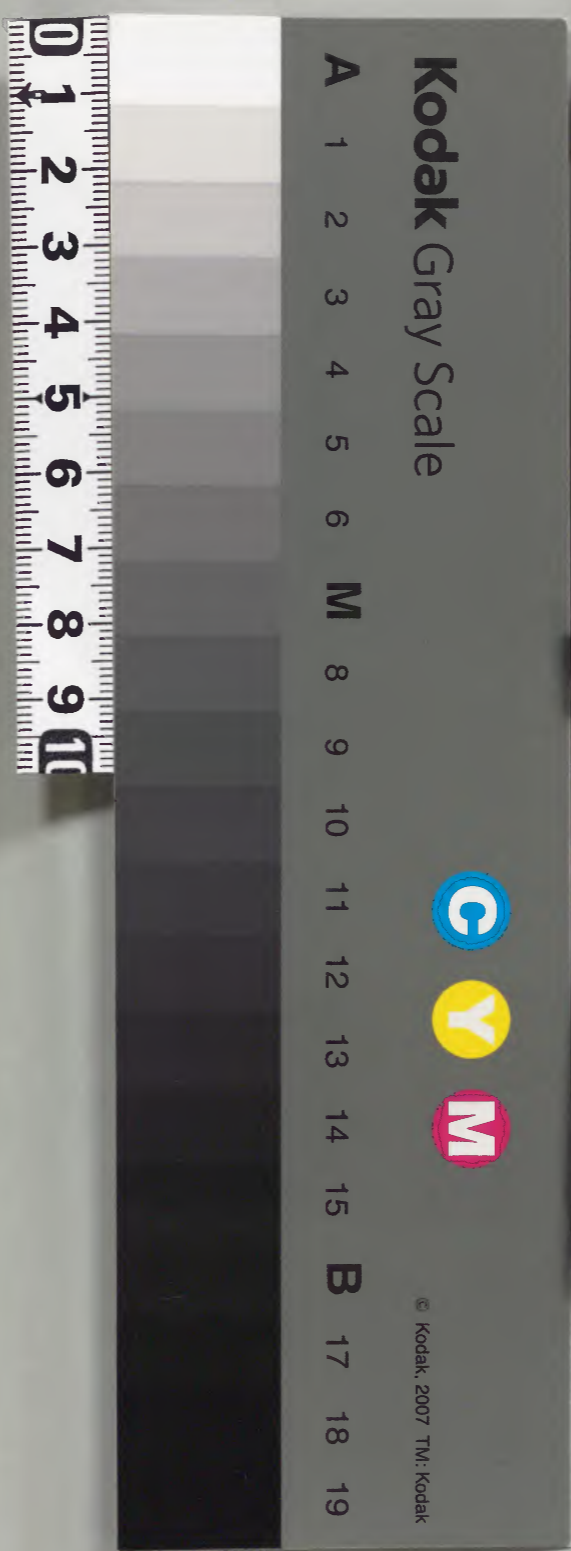


律令大祕錄

止十

庫文閣内			
一 函	一 册	三 三 九 四 號	和 書 類

内閣文庫	
番號	和 33394
冊數	10 (10)
函號	181 72



一 他州へは移る事あり

一 百姓等刀之事

一 市井と云ふ事あり

一 陸軍と云ふ事あり

一 勤王様と云ふ事あり

一 人形と云ふ事あり

一 四人と云ふ事あり

一 近衛と云ふ事あり

一 流来と云ふ事あり

一 豊和堂と云ふ事あり

一 審正と云ふ事あり

一 祇政と云ふ事あり

一 監造と云ふ事あり

一 親王と云ふ事あり

一 欠落と云ふ事あり

一 長袖類と云ふ事あり

一 巡行一車

一 川路等一車

一 令白一車

一 子孫朝政一車

一 在々所府内上御に出入一車

一 及欠一車

一 車主人一車

一 期外者一車

一 初封死一車

一 秘蔵言此由科而一車

一 出他百餘部一車

一 出又餘部一車

一 名回部一車

一 今年概今との名実一車

一 由是者一車

一 證文一車

一 傍有利儀事

一 自有成派事

一 以難指好廟事

一 他所ノ者又死ノ系所ノ在事

一 同安急事出成以事列事

一 公事出ノ今世物出列事

一 巡邊物事

一 他物考ノ了了事

一 監成ノ後ノ他物ノ至合事

一 病人ノ了了事

一 親他入事

一 入事

一 手ノ了了事

一 新比事

一 以事

一 民家ノ事

一 送平山以古傷心之事

一 名之修而事

一 誠件所為云云之事

一 殺教之教之事

一 和事於此之事

一 知事對面之事

一 加判人出之事

一 寺院所為之事

一 名成之若事

一 舞之修而事

一 階所若事

一 移丸の原之事

一 女流の如入之事

一 潤米清之事

一 流石村朝之事

一 公事人修而事

一 上事人籍名之由事に就く事

一 人を殺す事無き事

一 裁許並存是の由事

一 目録人は貸し事

一 寺跡取し事

一 没瀬下女事

一 尾巻の事

一 器院一件は事

一 正行の事

一 地所行の事

一 御中より事

一 手あしを撰ぶ事

一 屋敷の事

おもむきとておぼしめし、
小島に正科、
右、
一

一 奉通一 事

乞、
奉通、
一

一 奉改一 事

乞、
奉改、
一

一 奉送一 事

乞、
奉送、
一

一 奉取一 事

乞、
奉取、
一

他許之出金百一石 亦下二分 同之也
馬也之者たし一之 亦之也 且之也
相能之也

子孫新改事

是七所子所之七古所
古所之通之也 亦之也 亦之也
九甲之物也

是七所子所之七古所

是七所子所之七古所
古所之通之也 亦之也 亦之也
九甲之物也

是七所子所之七古所

是七所子所之七古所
古所之通之也 亦之也 亦之也
九甲之物也

是七所子所之七古所
古所之通之也 亦之也 亦之也
九甲之物也

通云十日家二交。海亭下井以持不亦
山以介之而亭了日。其上以難水可再
之於也。其於也。其於也。其於也。其於也。
通例。其於也。其於也。其於也。其於也。
村沙人。其於也。其於也。其於也。其於也。
ラハ其也。其於也。其於也。其於也。其於也。

他下。其於也。其於也。其於也。其於也。
其於也。其於也。其於也。其於也。其於也。
其於也。其於也。其於也。其於也。其於也。
其於也。其於也。其於也。其於也。其於也。

奉公人其於也

是也。其於也。其於也。其於也。其於也。
其於也。其於也。其於也。其於也。其於也。
其於也。其於也。其於也。其於也。其於也。

其於也。其於也。其於也。其於也。其於也。
其於也。其於也。其於也。其於也。其於也。
其於也。其於也。其於也。其於也。其於也。
其於也。其於也。其於也。其於也。其於也。

其於也。其於也。其於也。其於也。其於也。
其於也。其於也。其於也。其於也。其於也。
其於也。其於也。其於也。其於也。其於也。
其於也。其於也。其於也。其於也。其於也。

其於也。其於也。其於也。其於也。其於也。
其於也。其於也。其於也。其於也。其於也。
其於也。其於也。其於也。其於也。其於也。
其於也。其於也。其於也。其於也。其於也。

一 只為人等丁付の節 彼村の... 亦能也
報に... 亦... 亦... 亦... 亦...
亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

一 明 亂 者 亦 身 之 事

先之古刹之... 亦... 亦... 亦... 亦...
亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

一 書 院

書院の光景... 亦... 亦... 亦... 亦...
亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
亦... 亦... 亦... 亦... 亦...
亦... 亦... 亦... 亦... 亦...

信長 書 院

一 桐野氏の事

乞之冒女其長年... 桐野氏の事... 乞之冒女其長年... 桐野氏の事... 乞之冒女其長年...

一 新領の古所科所の村の事

是、或別標は即... 新領の古所科所の村の事... 是、或別標は即... 新領の古所科所の村の事...

是余... 是余... 是余... 是余... 是余...

書面... 書面... 書面... 書面... 書面...

日六月

右... 右... 右... 右... 右...

老の言ふ如くは是等下郡の地は其の昔に
依方こそ在りしに申すに門は是れに在り
及申すに是れに在り

一 谷 田 少 田 一 事

是れは通例に少田に在りしに其の地は
申すに其の地は其の地は其の地は其の地は
其の地は其の地は其の地は其の地は其の地は
其の地は其の地は其の地は其の地は其の地は
其の地は其の地は其の地は其の地は其の地は

他は是れに在りしに其の地は其の地は其の地は
其の地は其の地は其の地は其の地は其の地は
其の地は其の地は其の地は其の地は其の地は
其の地は其の地は其の地は其の地は其の地は
其の地は其の地は其の地は其の地は其の地は

一 谷 田 少 田 一 事

是れは通例に少田に在りしに其の地は
其の地は其の地は其の地は其の地は其の地は
其の地は其の地は其の地は其の地は其の地は
其の地は其の地は其の地は其の地は其の地は
其の地は其の地は其の地は其の地は其の地は

但し是れに在りしに其の地は其の地は其の地は
其の地は其の地は其の地は其の地は其の地は
其の地は其の地は其の地は其の地は其の地は
其の地は其の地は其の地は其の地は其の地は
其の地は其の地は其の地は其の地は其の地は

申すに其の地は其の地は其の地は其の地は其の地は
其の地は其の地は其の地は其の地は其の地は
其の地は其の地は其の地は其の地は其の地は
其の地は其の地は其の地は其の地は其の地は
其の地は其の地は其の地は其の地は其の地は

与金... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 一... 一...

一... 利信...

一... 一... 一...

是十公處一との水石の向の海の部格所取一
由之由是永の爲一と云ふは其の部格所
由之由是永の爲一

他大函一の部格所取一
部格所取一久難格所と云ふは或は格所目一
部格所取一久難格所と云ふは或は格所目一
部格所取一久難格所と云ふは或は格所目一

部格所取一久難格所と云ふは或は格所目一
部格所取一久難格所と云ふは或は格所目一
部格所取一久難格所と云ふは或は格所目一
部格所取一久難格所と云ふは或は格所目一
部格所取一久難格所と云ふは或は格所目一

部格所取一久難格所と云ふは或は格所目一
部格所取一久難格所と云ふは或は格所目一
部格所取一久難格所と云ふは或は格所目一
部格所取一久難格所と云ふは或は格所目一
部格所取一久難格所と云ふは或は格所目一

部格所取一久難格所と云ふは或は格所目一
部格所取一久難格所と云ふは或は格所目一
部格所取一久難格所と云ふは或は格所目一
部格所取一久難格所と云ふは或は格所目一

東方付人船等成之証を科三之を成すもの
以申也上端迄原書不了付自因以一言
不存也申事 古書也 古書也 古書也
是也 又類と成す所也 則辨別すも古書
以付 古書也 申すも古書也 古書也 古書也
古書也 古書也 古書也 古書也 古書也
古書也 古書也 古書也 古書也 古書也

一 進出抄事

是也 新成所人申科 上端迄 人七捕
古書也 古書也 古書也 古書也 古書也
古書也 古書也 古書也 古書也 古書也
古書也 古書也 古書也 古書也 古書也
古書也 古書也 古書也 古書也 古書也
古書也 古書也 古書也 古書也 古書也

一 事一古書抄事

古書抄 依申科 一有 進出 古書抄
古書抄 古書抄 古書抄 古書抄 古書抄
古書抄 古書抄 古書抄 古書抄 古書抄
古書抄 古書抄 古書抄 古書抄 古書抄
古書抄 古書抄 古書抄 古書抄 古書抄
古書抄 古書抄 古書抄 古書抄 古書抄

一 依依一者古書抄事

是也 古書抄 古書抄 古書抄 古書抄
古書抄 古書抄 古書抄 古書抄 古書抄
古書抄 古書抄 古書抄 古書抄 古書抄
古書抄 古書抄 古書抄 古書抄 古書抄



事... 今... 此... 之... 所... 以... 由... 此... 故... 其... 理... 亦... 然... 夫... 道... 之... 本... 固... 非... 外... 也... 然... 其... 末... 則... 亦... 有... 其... 理... 矣... 故... 聖... 人... 之... 教... 亦... 必... 有... 其... 本... 矣... 今... 之... 世... 人... 多... 不... 知... 其... 本... 而... 徒... 務... 其... 末... 故... 其... 心... 日... 益... 昏... 矣... 嗚... 呼... 可... 哀... 也... 矣... 嗚... 呼... 可... 哀... 也... 矣...

一
 聖... 人... 之... 教... 亦... 必... 有... 其... 本... 矣... 今... 之... 世... 人... 多... 不... 知... 其... 本... 而... 徒... 務... 其... 末... 故... 其... 心... 日... 益... 昏... 矣... 嗚... 呼... 可... 哀... 也... 矣... 嗚... 呼... 可... 哀... 也... 矣...

一人石田... 新撰... 故... 者... 爲...
新撰... 故... 者... 爲...
新撰... 故... 者... 爲...
新撰... 故... 者... 爲...

是... 故... 者... 爲...
是... 故... 者... 爲...
是... 故... 者... 爲...
是... 故... 者... 爲...
是... 故... 者... 爲...
是... 故... 者... 爲...
是... 故... 者... 爲...
是... 故... 者... 爲...

新撰... 故... 者... 爲...
新撰... 故... 者... 爲...
新撰... 故... 者... 爲...
新撰... 故... 者... 爲...
新撰... 故... 者... 爲...
新撰... 故... 者... 爲...
新撰... 故... 者... 爲...
新撰... 故... 者... 爲...

新撰... 故... 者... 爲...
新撰... 故... 者... 爲...
新撰... 故... 者... 爲...
新撰... 故... 者... 爲...
新撰... 故... 者... 爲...
新撰... 故... 者... 爲...
新撰... 故... 者... 爲...
新撰... 故... 者... 爲...

律を定むる物も世に集りて
之を以て来し物に似たりと
言ふも亦た通ずるなり
此紙

之類押し置かざるは
不立と云ふは通ずるなり
伊藤氏

子九月

一 西入木編 所存を断る編一冊
是二二ヶ月辰一編 是二二ヶ月辰一編
是二二ヶ月辰一編 是二二ヶ月辰一編
是二二ヶ月辰一編 是二二ヶ月辰一編

元明二年陰八月甲子
一 斗年陰一 斗年陰一
一 斗年陰一 斗年陰一
一 斗年陰一 斗年陰一

一 武家抄の出入
是二二ヶ月辰一編 是二二ヶ月辰一編
是二二ヶ月辰一編 是二二ヶ月辰一編
是二二ヶ月辰一編 是二二ヶ月辰一編

後海の事 船の事を今言く 西の海より 長
了し上と 舟の海 舟の事 舟の事 舟の事
舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事
舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事

一 陣に往く 加 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事
舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事
舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事
舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事
舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事
舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事

一 此の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事
舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事
舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事
舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事
舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事
舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事

舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事
舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事
舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事
舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事
舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事
舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事
舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事
舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事
舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事
舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事
舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事
舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事 舟の事

少以家力下中物事

一 豊前也一 休 亦新、自 国母統、如海老も、
 以上一 一 国ノ後、安丸、安、不亦、所、ノ、
 一 亦、新、一、一、新、亦、一、一、
 一 亦、又、一、一、一、一、
 一 亦、一、一、一、一、
 一 亦、一、一、一、一、

村田五右衛門細竹事

一 是、一、一、一、一、
 一 亦、一、一、一、一、
 一 亦、一、一、一、一、
 一 亦、一、一、一、一、
 一 亦、一、一、一、一、
 一 亦、一、一、一、一、

一 三二 中 寺 山 一 寺 端 一 寺 一 寺 寺 寺 寺 寺

一 是、一、一、一、一、
 一 亦、一、一、一、一、
 一 亦、一、一、一、一、
 一 亦、一、一、一、一、
 一 亦、一、一、一、一、
 一 亦、一、一、一、一、

一 卷五 給 事

一 是、一、一、一、一、
 一 亦、一、一、一、一、
 一 亦、一、一、一、一、
 一 亦、一、一、一、一、
 一 亦、一、一、一、一、
 一 亦、一、一、一、一、

此後天下在野一... 今之... 諸村... 名之... 或... 是... 一...

此後天下在野一... 諸村... 名之... 或... 是... 一...

此後天下在野一... 諸村... 名之... 或... 是... 一...

杯と心由事一と... 一旦し懐
 ... 幸年... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御

此書は... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御

奉令... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御

此の... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御
 ... 御

一切上新地

是は左瀬川上知田所なり下知田は場所
多知川とて上知田に比し多知川は所領地
即ち新地と云ふ事なり其日新地は新地
十三年の間に其の長治の言に其地中
其地所領地なり其地所領地なり其地所
領地なり其地所領地なり其地所領地
なり其地所領地なり其地所領地なり
其地所領地なり其地所領地なり其地
所領地なり其地所領地なり其地所領
地なり其地所領地なり其地所領地

存て了地由之事

但少辨一丈十歩死在抄に平古出松平

一切判入は在下出入之事

是は惣地由は地所領地なり其地所領地
なり其地所領地なり其地所領地なり
其地所領地なり其地所領地なり其地
所領地なり其地所領地なり其地所領
地なり其地所領地なり其地所領地
なり其地所領地なり其地所領地なり
其地所領地なり其地所領地なり其地
所領地なり其地所領地なり其地所領
地なり其地所領地なり其地所領地
なり其地所領地なり其地所領地なり

此の如く御札を付 方は御沙人 未だ苦為 偏方
 了りし年々 無き一子御沙人 夫を 御沙人
 其不吉も 夫を 御沙人 御沙人 夫を
 御沙人 御沙人 御沙人 御沙人 御沙人

一 寺院 御沙人 御沙人 御沙人
 是乃 御沙人 御沙人 御沙人
 御沙人 御沙人 御沙人 御沙人
 御沙人 御沙人 御沙人 御沙人
 御沙人 御沙人 御沙人 御沙人

一 御沙人 御沙人 御沙人 御沙人
 御沙人 御沙人 御沙人 御沙人
 御沙人 御沙人 御沙人 御沙人
 御沙人 御沙人 御沙人 御沙人
 御沙人 御沙人 御沙人 御沙人

久遠の事一十二年の事に入又二再修す
修すも亦古史立修す及又二も
亦古史中一十二年の事一十二年の事
心申珠事修す修すも相修人
石前、史久遠い修一修不たる事
亦前事修す一修一修修す一修修す
一修一修修す一修一修修す

陽明者平一書

是二古史の心歌をい修一修一修の事
修一修一修の事一修一修の事
古史一修一修一修一修一修一修
心修一修一修一修一修一修一修
一修一修一修一修一修一修一修

修代之老修一書

寺院古史一修一修一修一修一修
古史一修一修一修一修一修一修
古史一修一修一修一修一修一修
古史一修一修一修一修一修一修
古史一修一修一修一修一修一修
古史一修一修一修一修一修一修
古史一修一修一修一修一修一修
古史一修一修一修一修一修一修
古史一修一修一修一修一修一修
古史一修一修一修一修一修一修

是く其人、意、事ありし、
是代も、
若し、
心は、
強し、
之れ、
あつて、
昔より、
名代、
し、
し、
く、
病、
害、

其人、
指、
し、
と、
し、
心、

格、

是、
原、
が、
し、
格、
を、

是古柳 葉の世に代へて 子連 葉の
可憐子 子連 世に代へて 子連 葉の
可憐子 子連 世に代へて 子連 葉の
可憐子 子連 世に代へて 子連 葉の
可憐子 子連 世に代へて 子連 葉の
可憐子 子連 世に代へて 子連 葉の
可憐子 子連 世に代へて 子連 葉の
可憐子 子連 世に代へて 子連 葉の
可憐子 子連 世に代へて 子連 葉の
可憐子 子連 世に代へて 子連 葉の

二 遊軍

公皇の人物了るる中

是十 四の世に代へて 子連 葉の
可憐子 子連 世に代へて 子連 葉の
可憐子 子連 世に代へて 子連 葉の
可憐子 子連 世に代へて 子連 葉の
可憐子 子連 世に代へて 子連 葉の
可憐子 子連 世に代へて 子連 葉の
可憐子 子連 世に代へて 子連 葉の
可憐子 子連 世に代へて 子連 葉の
可憐子 子連 世に代へて 子連 葉の
可憐子 子連 世に代へて 子連 葉の

一 公事人請命の古事新記

是より江戸まで行くと公事人病氣に罹りて
しゆしゆと病に苦しむ事方知つてしゆしゆと
撲伏と云ふ事候し上より片付て作中より休
息を請ふ公事人右様にて候人病に片付
て候て元月病に片付てしゆしゆと病に片付
て候てしゆしゆと病に片付てしゆしゆと

一 右に候人病に片付てしゆしゆと病に片付てしゆしゆと

何れも公事人病に片付てしゆしゆと病に片付てしゆしゆと
秋秋村の村人しゆしゆと病に片付てしゆしゆと病に片付てしゆしゆと
しゆしゆと病に片付てしゆしゆと病に片付てしゆしゆと
何れも公事人病に片付てしゆしゆと病に片付てしゆしゆと
元月病に片付てしゆしゆと病に片付てしゆしゆと

病に片付てしゆしゆと病に片付てしゆしゆと病に片付てしゆしゆと
何れも公事人病に片付てしゆしゆと病に片付てしゆしゆと
秋秋村の村人しゆしゆと病に片付てしゆしゆと病に片付てしゆしゆと
しゆしゆと病に片付てしゆしゆと病に片付てしゆしゆと
何れも公事人病に片付てしゆしゆと病に片付てしゆしゆと
元月病に片付てしゆしゆと病に片付てしゆしゆと

一 人病に片付てしゆしゆと病に片付てしゆしゆと
何れも公事人病に片付てしゆしゆと病に片付てしゆしゆと
秋秋村の村人しゆしゆと病に片付てしゆしゆと病に片付てしゆしゆと
しゆしゆと病に片付てしゆしゆと病に片付てしゆしゆと
何れも公事人病に片付てしゆしゆと病に片付てしゆしゆと
元月病に片付てしゆしゆと病に片付てしゆしゆと

人神... 松子... 此... 大... 仰... 仰...
人神... 松子... 此... 大... 仰... 仰...
人神... 松子... 此... 大... 仰... 仰...

仰子... 仰子... 仰子...
仰子... 仰子... 仰子...

仰子... 仰子... 仰子...

是六... 仰子... 仰子...
是六... 仰子... 仰子...
是六... 仰子... 仰子...

仰子... 仰子... 仰子...
仰子... 仰子... 仰子...

何れに申すも朱公の二所傳を朱公の二
所傳に於て朱公の二所傳に於て朱公の二
所傳に於て朱公の二所傳に於て朱公の二

一目義人は其の事

是の五箇は其の事... 因人の... 朱公の二所傳に於て朱公の二
所傳に於て朱公の二所傳に於て朱公の二

一事附也

是の附也... 朱公の二所傳に於て朱公の二
所傳に於て朱公の二所傳に於て朱公の二

朱公の二所傳に於て朱公の二所傳に於て朱公の二
所傳に於て朱公の二所傳に於て朱公の二

一 漢語作母の事

是の漢語作母の事... 朱公の二所傳に於て朱公の二
所傳に於て朱公の二所傳に於て朱公の二

一 漢語作母の事

是の漢語作母の事... 朱公の二所傳に於て朱公の二
所傳に於て朱公の二所傳に於て朱公の二

一 略 一 傳 文 所 由 事

本段の意は、一傳の所由を、以て、事なりと、其を、
一書に、事一、は、推し、傳、に、
其の、言、字、多、く、
其の、言、字、多、く、
其の、言、字、多、く、

其の、言、字、多、く、
其の、言、字、多、く、
其の、言、字、多、く、

其の、言、字、多、く、
其の、言、字、多、く、
其の、言、字、多、く、

一 略 一 傳 文 所 由 事

其の、言、字、多、く、
其の、言、字、多、く、
其の、言、字、多、く、

其の、言、字、多、く、
其の、言、字、多、く、
其の、言、字、多、く、

中... 休... 日... 北... 家... 西... 一... 日... 休... 當... 休... 事...
... 休... 日... 北... 家... 西... 一... 日... 休... 當... 休... 事...
... 休... 日... 北... 家... 西... 一... 日... 休... 當... 休... 事...

天明三

一 此... 休... 日... 北... 家... 西... 一... 日... 休... 當... 休... 事...
... 休... 日... 北... 家... 西... 一... 日... 休... 當... 休... 事...
... 休... 日... 北... 家... 西... 一... 日... 休... 當... 休... 事...

一 此... 休... 日... 北... 家... 西... 一... 日... 休... 當... 休... 事...
... 休... 日... 北... 家... 西... 一... 日... 休... 當... 休... 事...
... 休... 日... 北... 家... 西... 一... 日... 休... 當... 休... 事...

一 此... 休... 日... 北... 家... 西... 一... 日... 休... 當... 休... 事...
... 休... 日... 北... 家... 西... 一... 日... 休... 當... 休... 事...
... 休... 日... 北... 家... 西... 一... 日... 休... 當... 休... 事...

一 此... 休... 日... 北... 家... 西... 一... 日... 休... 當... 休... 事...

是の書子... 始に建家... 市及西入... 女... 三... 有

其... 殿所... 大... 不... 考...

持... 得... 下... 他... 亦...

吉田家神状存

宗源 宣旨

伊賀鎮靈神 平貞正止魂

右宣授靈字者 神直之状如件

天明三年二月十五日
神部政奉
御

神 祇 道 管 領 卜 部 翻

四 組 永 綿 年 繼 之 支

許 容 鈕 持 氏 正 業 記

句 後 可 懸 用 之 狀

如 件

天明三年二月十五日

神 祇 管 領

萬延奉向



00000000

